

沖縄県国頭郡伊江村 西江前方言の待遇表現

生塩 睦子

I. はじめに

1. 調査対象地：伊江島は沖縄本島北部の本部(もとぶ)半島から北西約9 km離れたところにある。島は東西約8.4 km、南北3 km。島の東部の中央には城山(172m)があり、その山麓から南海岸にかけて集落がひらけている。一島で一村(伊江村)をなしており、8か字からなる。

生業は主として農業(さとうきび・葉たばこ・落花生など)。

本部半島渡久地港から伊江島までカーフェリーが就航(一日4～5往復、所要時間30分)。村内には、集落を一周するバスが運行。

人口 5,445人・世帯数 1,986(1997年 4月30日現在)

2. 調査年月日：1997年3月28日・29日・30日

3. 話者：知念シゲさん 1937年(昭和12年)生(59歳)

沖縄県国頭郡伊江村西江前在住

知念さんは老年層の言語使用者と認定できる(祖父母のもとでお育ちになり、少女期よりずっと一家の支える働き手として年長者に混じって仕事をなさって、主に一・二世世代上の方々と交わってこられた)。

4. 調査場所：伊江村東江上・ホテルヒルトップ

5. 調査方法：統一調査票による質問調査

6. 表記の方法：方言表記はカタカナを用いるが、語頭の無気音音節だけはひらかなを使う。ひらかな表記に該当する音声・まぎらわしいカタカナ表記に該当する音声は次の通り。

ら [ʔra] ・キ [ji] ・エ [je] ・ウ [wu] ・うエ [ʔwe] ・か [ka] ・け [ke] ・
にゃ [ʔna] ・ま [ʔma] ・くっ [kwa] ・き [ki] ・ん [ʔN]

アクセントは、「 ʔ 」で示す。

II. 調査結果

I. 尊敬表現

I-1 対者敬語

(1) A お前は ら^ʔ

- 元気かね チューパン^ㄉジ アイチュ^ㄹミ / チューパン^ㄱジャ^ㄹキ
 チュー^ㄱパン^ㄉジャ 「ヌ^ㄹイ / チュー^ㄱパン^ㄉジャ ヤ^ㄹミ
- B あなたは ウ^ㄱガ^ㄹ
- 元気かね チューパン^ㄉジ アイチェ^ㄹミ / チュー^ㄱパン^ㄉジャ ヤ^ㄹミ
- C あなたは ウ^ㄱマ^ㄹ
- 元気かね チューパン^ㄉジ アイチン^ㄷシ^ㄹエ^ㄹミ
 チュー^ㄱパン^ㄉジャ ヤ^ㄹン^ㄷシ^ㄹエ^ㄹミ
- (2) A あしたは家にいるか アチャ^ㄱー ヤーナ^ㄹイ ウ^ㄹウ^ㄹミ
 アチャ^ㄱー ヤー ヤ^ㄹミ
- B あしたは家にいますか アチャ^ㄱー ヤーナ^ㄹイ う^ㄹエ^ㄹー^ㄹミ
- C あしたは家に居られますか アチャ^ㄱー ヤーナ^ㄹイ イ^ㄱメ^ㄹン^ㄷシ^ㄹエ^ㄹミ
- (3) A あした行くか アチャ^ㄱー イチュ^ㄹミ
- B あした行きますか アチャ^ㄱー う^ㄹエ^ㄹー^ㄹミ
- C あした行きますか アチャ^ㄱー イ^ㄱメ^ㄹン^ㄷシ^ㄹエ^ㄹミ
- (4) A お風呂に行かないか ユー^ㄱフ^ㄹル^ㄹン^ㄱカイ イ^ㄱチャ^ㄹン^ㄷナ
- B お風呂に行かれませんか ユー^ㄱフ^ㄹル^ㄹン^ㄱカイ ウ^ㄱラ^ㄹン^ㄷナ
- C お風呂に行かれませんか ユー^ㄱフ^ㄹル^ㄹン^ㄱカイ イ^ㄱメ^ㄹン^ㄷシ^ㄹョ^ㄹラ^ㄹン^ㄷナ
- (5) A (どんな仕事を)しますか 「シ^ㄹエ^ㄹー
- B (どんな仕事を)されますか 「シ^ㄹン^ㄷシ^ㄹエ^ㄹー
- (6) A 見ましたか ニョ^ㄹー^ㄱチ^ㄹー
- B 見ましたか 「ニ^ㄹン^ㄷシ^ㄹョ^ㄹチ^ㄹー
- (7) A (ゆうべは何時に)寝ましたか 「ニ^ㄹン^ㄷジ^ㄹョ^ㄹチャ^ㄹー
- B (ゆうべは何時に)寝ましたか 「ニ^ㄹン^ㄷジ^ㄹン^ㄷシ^ㄹョ^ㄹチャ^ㄹー
- C (そのベッドに)寝てください 「ニ^ㄹン^ㄷジ^ㄹン^ㄷシ^ㄹョ^ㄹリ / 「ニ^ㄹン^ㄷジ^ㄹョ^ㄹリ
- (8) A どこに行っているか 「ダ^ㄹン^ㄱカイ イ^ㄱチ^ㄹョ^ㄹー
 「ダ^ㄹン^ㄱカイ アイ^ㄱチ^ㄹョ^ㄹー
- B どこに行っていますか 「ダ^ㄹン^ㄱカイ う^ㄹエ^ㄹー
 「ダ^ㄹン^ㄱカイ アイ^ㄹチ アイ^ㄱチ^ㄹョ^ㄹー
- C どこに行っていますか 「ダ^ㄹン^ㄱカイ イ^ㄱメ^ㄹン^ㄷシ^ㄹエ^ㄹー
 「ダ^ㄹン^ㄱカイ アイ^ㄹチ アイ^ㄱチ^ㄹン^ㄷー^ㄹシ^ㄹエ^ㄹー
- (9) A (どうぞ)食べてくれ 「か^ㄹー^ㄱティ^ㄹン^ㄷニ^ㄱー / け^ㄹー^ㄱバ
- B (どうぞ)食べてください ア^ㄱゴ^ㄹチ^ㄹン^ㄷニョ^ㄹー^ㄹリ / ア^ㄱゴ^ㄹリ^ㄱバ
- C (どうぞ)食べてください ミ^ㄱシ^ㄹョ^ㄹチ^ㄹン^ㄷニ^ㄹン^ㄷシ^ㄹョ^ㄹリ / ミ^ㄱシ^ㄹョ^ㄹリ
- (10) A (その写真を私に)見せてくれないか ン^ㄷシ^ㄹヤ^ㄹン^ㄷネ
- B (その写真を私に)見せてくださいますか ン^ㄷシ^ㄹヨ^ㄹヤ^ㄹン^ㄷネ

C (その写真を私に) 見せてくださいますか ン「シン」ショヤンネ

I-2 第三者敬語

- (11) A あしたは家にいるだろう アチャ「ー ヤー」ナ「イ ムウラ」ード
「あしたは」は、アチャ「ヤ」 も使われる。
B あしたは家にいるだろう アチャ「ー ヤー」ナ「イ ムウラリ」ード
C あしたは家におられるでしょう
アチャ「ー ヤー」ナ「イ イメ」ンシエラード
- (12) A 居なかった ムウラ「ンナタツァー / ムウラ」ンタツァー
B 居なかった ムウヨ「ランナタツァー
C 居なかった イメ「ンショランナタツァー
- (13) A そう言った ア「ニ エ」ータン
B そう言った ア「ニ イ」ンシエタン
- (14) A 今ここに行っていた にヤン「マ 「ま」ンカイ イチュ」タン
B 今ここに行っていた にヤン「マ 「ま」ンカイ うエ」ータン
C 今ここに行っていた にヤン「マ 「ま」ンカイ イ「メ」ンシエタン
- (15) A 友達が来ている 「ドゥ」ーシ チ「ー ムウン
B (年長の人Bさんが) 来ている チ「ー ウェン
C (目上の人Cさんが) 来ている イ「メ」ンショチ ムウン
- (16) A 仕事をしている シ「ク」チ シ「ー ウェン / シ「ク」チ シ「ー ムウラ」リン
B 仕事をしている シ「ク」チ シ「ンショチ ムウン
シ「ク」チ シ「ンショチ イメ」ンシエン
- (17) A 見せてもらった ンシラ「タン (直訳 — 見せられた)
ンシユ「タン (直訳 — 見せよった)
B 見せてもらった ンシ「エ」タン
C 見せてもらった ンシン「シエタン
- (18) A 見せてくれた ンシラ「タン (直訳 — 見せられた)
B 見せてくれた ンシ「エ」タン
C 見せてくれた ンシン「シエタン
- (19) A 私にくださった ワヌ「ンカイ クワ」エ「タン / クワラタ」ン
B 私にくださった ワヌ「ンカイ クワン」シエタン
- (20) A いただいた クワラ「タン
B いただいた クワラ「リン」シエタン

II. 謙讓表現

II-1 謙讓表現

- (21) A 私も ワ「ヌ」ン — 「ワン」(私)に助詞「ン」(も)が付くと、「ワン」の
「ン」が「ヌ」に変化して「ワヌン」となる。
ワ「ノ」ー — 「ワン」(私)に助詞「ヤ」(は)が付いた形。
- B 私も ワ「ヌ」ン
C 私も ワ「ヌ」ン
- (22) A 十分に食べました シー「ペ くワ」ッチ シャツツァ
B 十分に食べました シー「ペ くワ」ッチ シャ「ー」ビタン
- (23) A 持ちましょう ムタ「ショ」ンヤンネ
B 持ちましょう ムタ「シン」ンショヤンネ
- (24) A 待たせたね マタ「チャ」ッツァヤー
B お待たせしました マ「チョ」ー「チー」
C お待たせしました マ「チン」ン「チョ」チー
- (25) A (駅で)待っているよ マ「チ」ン「ウ」ウンドー / マ「チ」ン「ウ」ウツツァ
B (駅で)待っていますよ マ「チ」ン「ウ」ウヤビンドー / マ「チ」ン「ウ」ウヤ「ビ」ツツァ
C (駅で)待っていますよ マ「チ」ン「ウ」ウヤビンドー
- (26) A 言ってくれ イ「ッチ」ウウ「チュ」ン「チ」ヤンネ
B 言ってください イ「ッチ」ウウ「チュ」ン「チョ」ヤンネ
C 言ってください イ「チ」 トウラシン「ン」ショヤンネ
- (27) A これをやろう フ「リ」 「き」ン「ユ」ツツァ
B これをあげましょう フ「リ」 クワ「ユ」ツツァ
C これをあげましょう フ「リ」 ウ「シャ」ン「ギ」ユン

II-2

- (28) A 買ってやった 「ホ」ン「ティ」トウラチャン
B 買ってやりました 「ホ」ン「ティ」ムタチャン
C 買ってやりました 「ホ」ン「ティ」トウラシャビタン
「ホ」ン「ティ」ムタシャビタン
- (29) A (主人はもう)帰っています ム「ドゥ」ン「ティ」チー ウウンデ「ャ」ー
B (主人はもう)帰っています ム「ドゥ」ン「ティ」チー ウウヤビン

III. 丁寧表現

- (30) A 行くよ イ「チュ」ン「ツツァ」
B 行きます イ「チャ」ン「ビツツァ」
- (31) A 寒いね ビ「ン」ン「サ」 「ヤ」ン
B 寒いですね ビ「ン」ン「サ」ヌ 「ヤ」ン
C 寒いですね ビ「ン」ン「サ」アイ「ン」ビン 「ヤ」ン

- (32) A 居るよ ウウ「ツツァ
 B 居ります ウウ「ヤ「ビツツァ
- (33) A よかったねえ キ「ー「バー ヤティアツツァヤ「ー
 B よかったですねえ キ「ー「バー ヤティアエンヤ「ー
 C よかったですねえ キ「ー「バー ヤティアンシェンヤ「ー
- (34) A そうか ん「ー
 B そうですか オ「ー
 C そうですか ウ「ー

IV. 人間関係に応じた待遇表現

IV-1 特定表現の待遇表現

- (35) その角を曲がって右へ行くと～

ウヌ ハドゥ「ー ウリ「ティ ニ「ジンカイ イチ「バ

- (36) とんでもない ア「メ「ー / ア「メ

*上記の語は案に相違した事態にあったとき発する感動詞で「アメー」の方が強意。

IV-2 多人数場面の待遇表現

- (37) してもいいよ 「シ「ー シニユンド「ー

私でできますかねえ ワン「シ ナユカヤ「ー

してもいいですよ 「シ「ー シニヤ「ビツツァ

- (38) 今度の旅行には参加者が少ないので、皆さん参加してほしい

フン「ドゥヌ タディ「ヤ ニン「ジュ「 イキラ「ー「サヌ, マジ「ー

A スィリ「ラランカヤ

B スィリ「ラリヨランカヤ

C スィリ「ラリンショランカヤ

IV-3 位相による待遇表現

- (39) 朝9時頃、近くの道路で出会ったとき、(A)どのように挨拶するか

(B)「どこへ行くのか」尋ねる

1. 「お寺の住職さん」に対して

(A) チュ「ーウガニャピラ.

(B) 「ダ「ンカイ イ「メ「ンシェ「ー.

「ダ「ンカイ トゥムウガマ「リン「シェ「ー.

2. 「校長先生」に対して

(A) チュ「ーウガニャピラ.

(B) 「ダ「ンカイ イ「メ「ンシェ「ー.

3. 「見知らぬ年配の男性」に対して
 - (A) うェ^ㇿーミー. / イ^ㇿメ^ㇿンシェ^ㇿミー.
 - (B) うェ^ㇿーミー. / イ^ㇿメ^ㇿンシェ^ㇿミー.
4. 「見知らぬ年配の女性」に対しては、3. に同じ.
5. 「顔見知りの年上の男性」に対して
 - (A) 「ダ^ㇿンカイ うェ^ㇿー. / 「ダ^ㇿンカイ イ^ㇿメ^ㇿンシェ^ㇿー.
 - (B) 「ダ^ㇿンカイ うェ^ㇿー. / 「ダ^ㇿンカイ イ^ㇿメ^ㇿンシェ^ㇿー.
6. 「顔見知りの年上の女性」に対しては、5. に同じ.
7. 「10歳ほど年下の見知らぬ男性」に対して
 - (A) イチュ^ㇿミー. / イチュ^ㇿルバ^ㇿイ.
 - (B) イチュ^ㇿミー. / イチュ^ㇿルバ^ㇿイ.
8. 「10歳ほど年下の見知らぬ女性」に対しては、7. に同じ.
9. 「同級生の男性」に対して
 - (A) チュー^ㇿパン^ㇿジャキ. / チュー^ㇿパン^ㇿジ アイ^ㇿチュ^ㇿミ.
 - (B) 「ダン^ㇿカイ イチョ^ㇿー. / 「ダン^ㇿカイガ.
10. 「同級生の女性」に対しては、9. に同じ.
11. 「10歳ほど年下の顔見知りの男性」に対して
 - (A) 「ア^ㇿメ. エ^ㇿー, チュー^ㇿパン^ㇿジャキ.
 - (B) 「ダン^ㇿカイ イチョ^ㇿー. / 「ダン^ㇿカイガ.
12. 「10歳ほど年下の顔見知りの女性」に対しては、11. に同じ.
13. 「近所の中学生の男の子」に対して
 - (A) エ^ㇿー.
 - (B) 「ダン^ㇿカイ イチョ^ㇿー. / 「ダン^ㇿカイガ.
14. 「近所の中学生の男の子」に対しては、13. に同じ.

Ⅲ まとめ

伊江島方言では、待遇表現は大きく三段階に言い分けられている。すなわち、

第一段階 —— 対等および目下の者に対する言い方

第二段階 —— 目上の人のうち、軽い敬意を払う相手に対する言い方

第三段階 —— 目上の人のうち、高い敬意を払う相手に対する言い方

の三段階である。本調査表の「A 親しい友人（女性）」に対する場合は第一段階、「B 近所の年長の人（女性）」は第二段階、「C 土地の目上の人（男性）」は第三段階に相当する。

この三段階に呼応して、代名詞・応答詞それぞれ特有の語を持つ。それらをまとめてみ

ると次のようになる。

伊江島方言の代名詞・応答詞

| 話し相手 | | 代名詞 | | 応答詞 | | | |
|-------|------|--------------------------------------|---|------------------|------------------|--|-----------------|
| | | 対称 | | 「はい」 | | 「いいえ」 | |
| | | 単数形 | 複数形 | 返事 | 承諾 | 返事 | 拒否 |
| 対等・目下 | | ラ ^ㇿ | ッリ ^ㇿ | ッン ^ㇿ | | ア ^ㇿ イ | ンバ ^ㇿ |
| 目上 | 軽い敬意 | ウガ ^ㇿ | ウガ ^ㇿ タ | 「ワー | ヲ ^ㇿ | ヲ ^ㇿ ーヲ ^ㇿ ー | |
| | 高い敬意 | ウマ ^ㇿ ウンジュ ^ㇿ | ウマンデ ^ㇿ ウンジュナ ^ㇿ | ウ ^ㇿ ー | ウ ^ㇿ ー | ウ ^ㇿ ー ^ㇿ ウ ^ㇿ ー | |

○

文表現において、先に発せられる代名詞・応答詞に呼応して、述部に用いられる動詞も使い分けられている。すなわち、

第一段階 —— 動詞の基本形（いわゆる終止形）

第二段階 —— 動詞の融合語幹に接尾辞「=en」が融合した形

第三段階 —— 動詞の連用形に接尾辞「-nſen」が接合した形

である。全動詞は、原則、尊敬語として第二段階および第三段階の派生語形を持つ。それぞれの場面に応じてその活用形が用いられ、その形に助詞・接尾辞を添えたりして表現されることになる。

本調査表に基づいて調査された述部動詞を、上の第一段階・第二段階・第三段階ごとに終止形を整理してみると次頁のようになる。

次表のうち、*印の語は上記の原則に当てはまらないものである。共通語「いる・行く・来る」に対する尊敬動詞が「いらっしゃる」であるように、伊江島方言にも特有の尊敬語がある。「いらっしゃる」に相当する語が「イメン」で、多くの場合「-ンセン」を伴って「イメンセン」の形で第三段階の敬意をはらう相手に用いられる。

「食べる」意には、敬意段階ごとに異なった語で表現される。自分の動作および第一段階の相手には「ケン」、第二段階の相手には「アグエン」、第三段階の相手には「ミセン」（多くの場合「-ンセン」を伴って「ミショチンセン」）が用いられる。

第一段階と第二段階の使い分けに、異なった語が用いられる場合もある。調査票の (27)

敬意段階別 動詞終止形

(数字は調査表の番号)

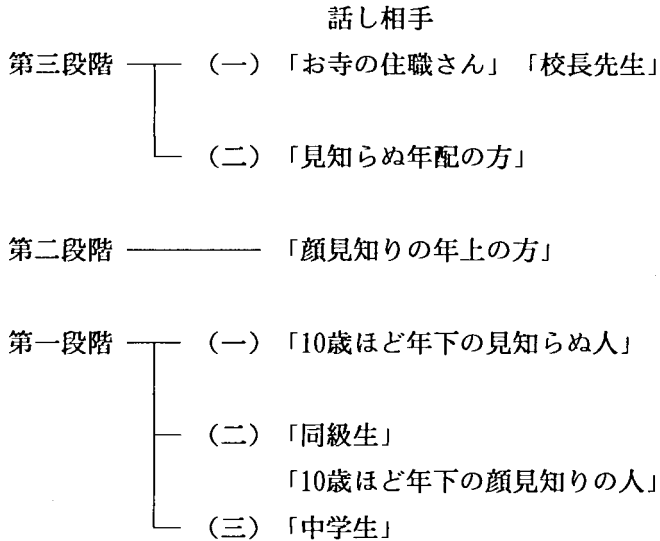
| | | | | | |
|------|--------------|------------------|--------------|------------|---------|
| 敬意段階 | ～している 1・8 | いる 2 11・12・15 | 行く 3・4・14 | する 5・16 | 見る 6 |
| 第一段階 | アイチュン | ゥウン | イチュン | シュン | ニュン |
| 第二段階 | アイチェン | うエン | うエン | シェン | ニエン |
| 第三段階 | アイチンシェン | イメンシェン | イメンシェン | シンシェン | ニンシェン |

| | | | | |
|---------|----------|-----------------|----------|----------------|
| 寝る 7 | 食べる 9 | 見せる 10・17・18 | 言う 13 | 分け与える 19・20 |
| ニンジュン | けん | ンシユン | ゆン | クワユン |
| ニンジェン | アグエン | ンシエン | エン | クワエン |
| ニンジンシェン | ミショチンシェン | ンシンシェン | インシェン | クワインシェン |

| | | | |
|------------|----------|----------|------------|
| 持たせる 23 | 待つ 24 | 寒い 31 | ～だった 33 |
| ムタシュン | マチュン | ピーサアン | ヤティアン |
| ムタシェン | マチェン | ピーサアエン | ヤティアエン |
| ムタシンシェン | マチンチェン | ピーサアンシェン | ヤティアンシェン |

「やる」意には、第一段階の相手には「きーユン（与える）」、第二段階の相手には上表の第一段階で示した「クワユン（分け与える）」となっている。この例文では、第三段階の相手には敬語動詞「ウシャギユン（差し上げる）」が用いられている。

このように、応答詞・代名詞・述語動詞は敬意の度合いによって三段階で言い分けられているが、その段階のなかでも、場面場面によってさらに敬意のこもった言い方、さらにぞんざいな言い方、などさまざまに言い分けられる。本調査票最終項目(39)の14場面によって敬意の高い順に並べてみる。男女差は敬意度に関係しないようであるから、つぎのようにまとめられる。



家庭内では、「子」は「父・母」に対しては第二段階で、「祖父・祖母」に対しては第三段階(二)で言い分けるといふ。このことから考えても、伊江島方言における敬意度は年齢差に一番左右されると言えるようである。

(おしお むつこ 広島経済大学)